

1区・2区・4区の調査成果

1区



竪穴建物跡5【古墳時代中期】

メノウ製勾玉

カマド

2区



旧河道 土器出土状況【弥生時代後期～終末期】

4区



掘立柱建物跡（白）と竪穴建物跡（黄）

おわりに

これまでの発掘調査によって、才村遺跡及び周辺地域の様々な歴史がわかってきました。

弥生時代～古墳時代では竪穴建物跡が合計 60 棟確認されました。夢前川下流域で同時期の集落の中では随一の規模を誇ります。才村遺跡がこの周辺地域での中心的な集落であったことが明らかとなりました。

また、奈良時代～平安時代では今回の調査で大型掘立柱建物跡や井戸が見つかりました。これまでの調査でも緑釉陶器、須恵器風字硯・円面硯、墨書土器などが出土しており、調査地及び周辺での官衙的な様相が想定できます。

さいむらいせき 才村遺跡

令和5年2月11日

兵庫県教育委員会
 (公財) 兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部
 〒675-0142 兵庫県加古郡播磨町大中 1-1-1
 (兵庫県立考古博物館内)
 URL: <https://www.hyogo-ctc.or.jp>

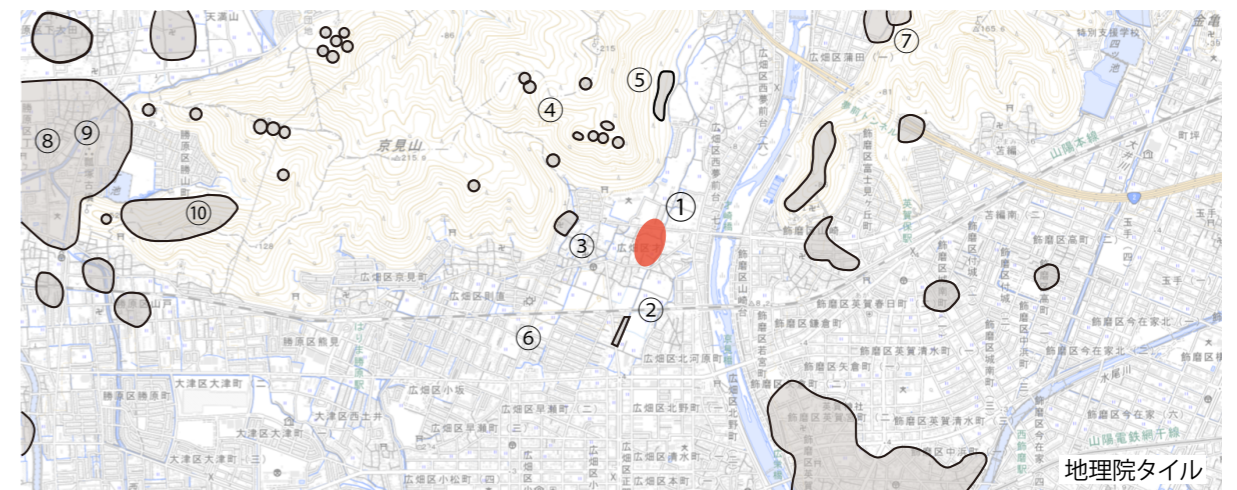


発掘現場説明会資料

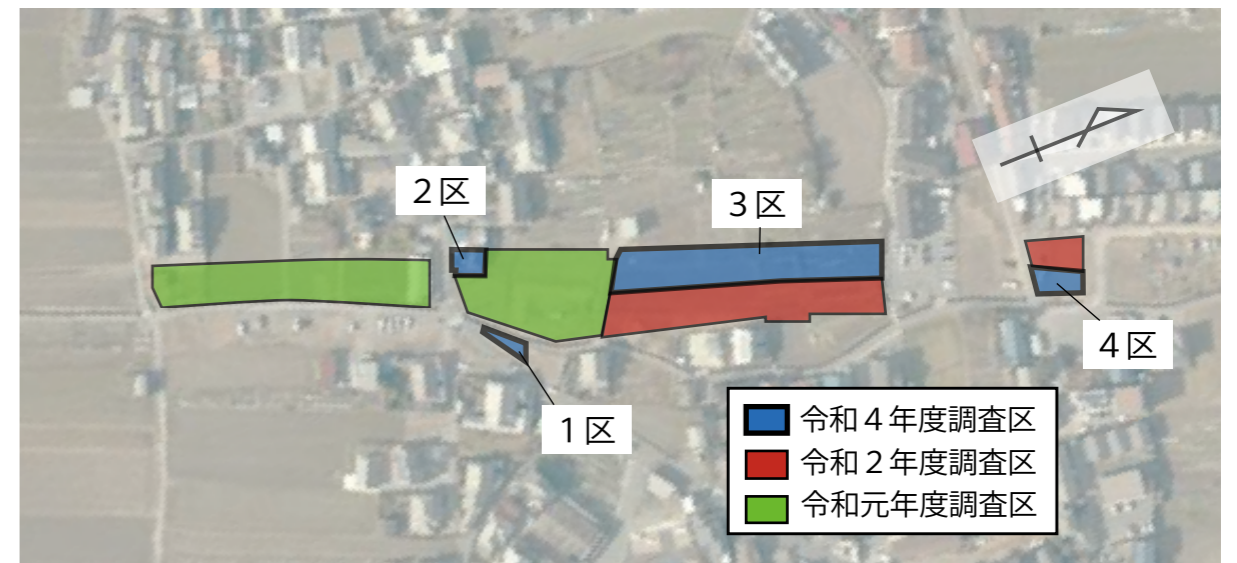
はじめに

(公財) 兵庫県まちづくり技術センターでは、(一) 広畑青山線の建設に先立ち、兵庫県教育委員会からの委託を受け、令和元年度、2年度と才村遺跡の発掘調査をおこなってきました。令和4年度は11月から調査をおこなっています。調査の結果、古墳時代中期から後期(約1500年前)にかけての竪穴建物跡19棟や溝、奈良時代から鎌倉時代(1200～700年前)にかけての掘立柱建物跡8棟や井戸などが見つかりました。

調査地と周辺の遺跡



- ①才村遺跡 ②郷着遺跡 ③才構跡 ④京見山才山頂第1・2号墳他 ⑤京見山列石群
- ⑥家中遺跡 ⑦山所廃寺 ⑧丁・柳ヶ瀬遺跡 ⑨瓢塚古墳 ⑩山戸古墳



- 令和4年度調査区
- 令和2年度調査区
- 令和元年度調査区

3区の調査成果



調査区遠景（南から）



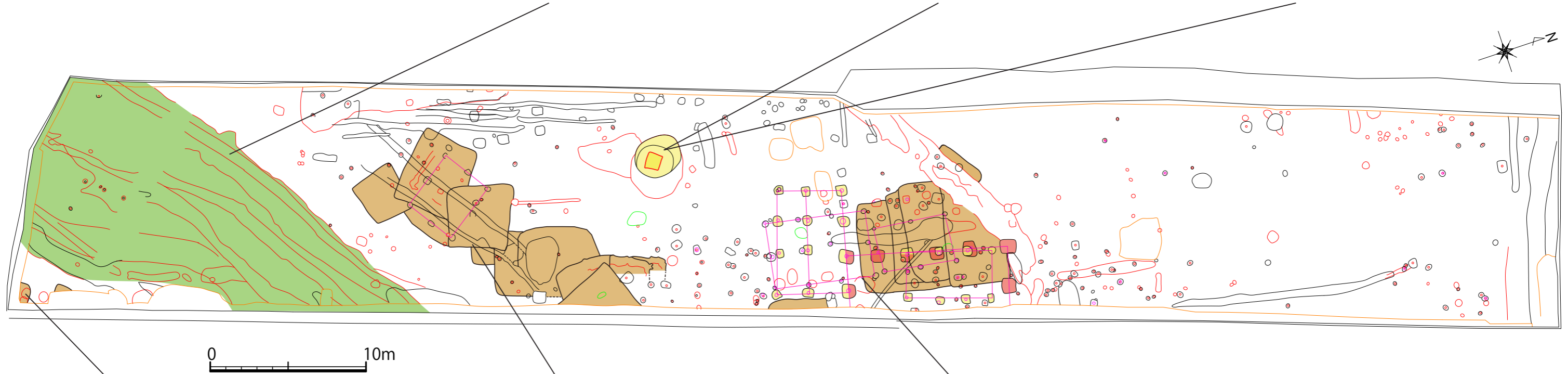
溝群【古墳時代中期～後期】



井戸【平安時代後期】



井戸 井戸枠内遺物出土状況



竪穴建物跡から出土した土師器甕【古墳時代中期】



竪穴建物群【古墳時代中期】



掘立柱建物群【奈良時代～鎌倉時代】



発掘調査の様子